

第五十二回帝國議會
衆議院

商工會議所法案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
商工會議所法案政府提出、貴族院送付)

會議

昭和二年三月二十二日(火曜日)午前十時三十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西 英太郎君

理事 倉元 要一君

理事 沼田嘉一郎君

工藤 鐵男君 荒井 建三君

信太儀右衛門君 村松 甚藏君

木暮武太夫君 嶋居 哲君

本多貞次郎君 永井 作次君

加藤錄五郎君 坂東幸太郎君

出席政府委員左ノ如シ

商工參與官 野村 嘉六君

商工書記官 吉野 信次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商工會議所法案(政府提出、貴族院送付)

○西委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、通告ノ順序ニ依リマシテ倉元君ニ質問ヲ許シマス

○倉元委員 大體今回御提出ニナリマシタル商工會議所法案ヲ見マス、吾モ其改正ノ御趣旨ノ大體ニ付テハ異論ハナイノデアリマスケレドモ、政府ノ御精神ノ在ル所ヲモウ少シ承ッテ見ナイト、吾々ノ判斷ニ苦ム點ガ多イノデアリマス、第一御伺シテ見タイノハ、十三條ノ議員定數ヲ五十名以内トスト云

フ條項デアリマス、是ハ舊法ニ於テ五十人ト云フコトニナッテ居リマスガ、此改正法案ハ時勢ノ進運ニ伴ッテ、實質之ニ相伴フ所ノ商工會議所トシテノ運用ヲ完カラシメル點ヨリシテ、御立案ニナッテ居ルト想像シテ居リマス、サウナルト今日ノ時勢カラ考ヘマスレバ、大都市モ地方ノ小都市モ同ジヤウナ範圍ニ於テ此議員ノ定員ト云フモノヲ見ナケレバナラス、現ニ此東京市ノ如キ、其他大阪市ノ如キ大都市ニナリマス、五十人ト云フ定員デハ甚ダ運用上、商工會議所ニ於テ會議ノ組織ヲ保ッテ行ク上ニ於テ、大變不都合ヲ生ズルト云フコトガアルヤウデアリマス、此五十人ト云フ標準ヲ御置キニナッタ基礎ガ何レニ在ルカト云フコトヲ私ハ確カメテ見タイト思ヒマス、是ハ何モサウ窮窟ニ、五十人ト云フ舊法ヲ御尊重ニナッテ御定メニナラスデモ、或ル程度マデ都市ノ膨脹ヲ御覽ニナレバ、相當ソコニ餘裕ヲ以テ運用ノ自由ノ利クヤウニナスッタ方ガ、此法ヲ生カシテ行ク所以ト考ヘマス、此點ニ付テ五十人ト云フノハ、斯ウ云フ考カラ舊法ノ儘ニシテ置イタノダト云フ理由ヲ承ッテ見タイト思フ

○吉野政府委員 只今御尋ネノ議員定數ノ點ハ、別段ニ是ハ理論上ノ根據ガアリマシテ五十人ト致シタ譯デハナイノデアリマス、唯現行法ガ五十人トナッテ居ルノデアリマスカラデ、其現行法ノ五十人トナッテ居リマスノガ、現在ノ此商業會議所ノ全體ヲ通ジテ見マス、中ニハ議員ノ數ガ多イ少イ、又有權者ノ數ガ多イ少イト云フコトハアリマスケレドモ、平均致シマシテ、其四十四人ノ有權者ニ付キマシテ一人ノ割合ガ、丁度其五十人ノ割合ニナルノデアリマス、東京ノ如ク最モ有權者ノ數ガ多イ所ニ於キマシテモ、丁度百人ニ付テ大體一人ノ割合ニナッテ居ル狀態デアリマス、ソレデ現行法ノ五十人ト云フノハ、議員ノ定數ノ最大ノ限度ヲ定メタノデアリマシテ、此五十人以内ニ於キマシテ、矢張有權者ノ増加ナドニ依テ、地方ノ狀況ニ依テソレソレノ會議所デハ其議員ノ定員ヲ定メルノデアリマス、前回參與官カラ御話申上ゲマシタ通り、五十人ノ定數ヲ持ッテ居リマスノハ、現在ノ商業會議所ノ中デ東京、大阪、横浜、神戸、名古屋ト云フ五箇所デアリマシテ、京都ハ四十八人デアリマスガ、マア五十人ニ近いノデアリマス、ソレデ矢張議員ノ選舉權者、有權者ノ數ガ一番多イ所デ矢張五十人ト云フコトニナッテ居リマスガ、其有權者ノ數ガ少イ所ハソレヨリモ下デアッテ、或ハ三十

人、二十五六人ト云フ風ニナッテ居リマシテ、自ラ其有權者ノ數ノ多イ少イニ依テ、自然ニ此議員ノ定數ト云フモノハ五十人以内ニ於テ按排セラレテ居ルノデアリマスカラ、現行法ヲ特ニ之ヲ變更スルダケノ、積極的ノ理由ヲ認メナカッタト云フダケニ過ギナイノデアリマス、進ンデ何故ニ五十人ニシナケレバナラスカト云フ理論上ノ理由ハ私共トシテハ無イノデアリマシテ、只今申シマシタ通り、先ヅ大體運用上差支ナイ現狀デアリマスカラ、現行法ノ五十人ト云フモノヲ其儘ニ踏襲シタノデアリマス、甚ダ理由ニナラナイヤウデアリマスガ、ソレ以外ニ別段深イ考ハ有ッテ居ラナイノデアリマス

○倉元委員 御趣旨ノ在ル所ハ分リマシタ、其精神ノ下ニ於テノ御改正ナラバ、此人員ノ數ヲモウ少シ殖スト云フコトガ今日ノ時代ニ適スル改正ダト思ヒマス、次ニ御尋ネシタイコトハ、是ハ本會議デ隨分問題ニナッタノデアリマスガ、會議所ノ執行機關デアアル會頭、副會頭ト云フモノヲ議員外カラ招聘シ得ラレ、他カラ持ッテ來ラレルコトニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是モ矢張自治ノ發達シタ今日ノ精神カラ申シマスト、甚ダ相應シクナイ規定ダト思ヒマス、私共ノ考デハ、サウ云フ制度ニス

ルト一ツノ弊害ヲ醸成シヤシナイカト云フ心配ヲ持ツモノデアリマス、何トナレバ議員内ニ於テ假リニ適任者ガアツテモ、感情上ノ關係カラ、議員内カラ選ブコトヲ快シトシナイト云フヤウナ、甚ダ面白クナイ一ツノ問題ガ其處ニ生ジハシナイカ、政府當局ノ所見デハ、運用其宜シキヲ得サセル爲メニ斯ウ云フ條文ニシタノデアルト云フ考デアルカモ知レマセヌガ、却テソレハ實際ノ運用ノ上ニ於テハ御期待ノ裏ガ來ハシナイカト思ヒマス、其點ニ付テ私共ハ政府當局ノ御辯明ノ理由ガ乏シイヤウニ思ヒマス、此點モ尙ホ詳細ニ政府ノ意ニ在ル所ヲモウ一應伺フテ私共ノ參考ニシタイト思ヒマス

○吉野政府委員 御答致シマス、議員外カラ會頭、副會頭ニ限ッテ役員ヲ選任スルコトガ出來ルト云フ規定ヲ置キマシタ趣旨ハ、本會議其他ノ場合ニ於テ既ニ申上ゲタ通りデ、實際ノ會議所ノ權能ヲ發揮スル上ニ於テ、斯ウ云フ特例ヲ設ケテ置イタ方が便宜ナ場合ガアラウカト云フ考カラ之ヲ置キマシタ次第デゴザイマス、ト申シマスノハ商業會議所ノ仕事ガ段々専門的ニナッテ参リマシテ、特別ノ知識ナリ、學識ナリ、經驗ナリヲ要スル場合ガ随分多イ、而シテ會議所ノ役員トナッテ居ラレル方ハ、商工業上ノ實際ノ經驗ハ多分ニ持ッテ居ラレマセウガ、何レモ本業ヲ有ッテ居ラレマス、其本業ノ片手間ニ、可ナリ

複雑ナル會議所ノ仕事ヲ専心御ヤリニナルト云フコトハ、時トシテ不都合若ハ不便ナ場合ガアルカモ知レマセヌ、サウ云フ場ニ云フ場合ニハ例外トシテ議員外カラ役員ヲ選任スルコトガ出來ル、會議所ノ方デサウシタ方が便利デアルト御認メニナツタ場合ニハ、其途ヲ開イテ置カウト云フ趣旨ニ他ナラナイノデアリマス、決シテ是ハ主務官廳ナリ、或ハ其他ノ行政官廳ガ議員外カラ役員ヲ選任スルコトヲ強制スル趣旨ハナイノデアリマシテ、會議所ノ方ノ自治權ヲ損ハナイ範圍ニ於テ、會議所ガ自治的ニサウシタ方が宜シイト斯ウ御認ニナツタ時ノ爲ニ、其途ヲ開イテ置カウ、ソレデ實際ノ問題トシテハ、定款ノ規程ハ第六條ニゴザイマスガ、此三號ニ役員ノ定數ナリ、權限ナリ、選任ニ關スル規定ガアリマシテ、定款ト云フモノハ議員總會デ議決スルコトニナッテ居リマスガ、議員總會ニ於テ多數ノ意見ガ、定款デ以テサウ云フ特別ノ場合ニ處スル便法ヲ開イタ方が宜シイト云フコトヲ議決シテ、其會議所ノ定款ニ於テサウ云フ途ガ開ケタ場合ニ、即チ二十八條ノ規定ガ働イテ來ルノデアリマシテ、實際今御話ノヤウナ問題ガ突發致シマス時ニ、直チニ議員外ノ者カラ役員ヲ選任シヤウト云ッテモ、ソレハ出來ナイノデアリマシテ、ソレハチャント準備シテ、自治的ニ會議所ノ方デ定款デ以テサウ云フ便法ヲ決メテ置イ

タ場合ニ、此二十八條ノ規定ガ働クト云フ趣旨デアリマスカラ、局ニ當ル者トシテハ、別段ニ是ハ會議所ト云フモノノ自治權ト云フモノヲ害スル恐レハナイモノト實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ御參考ニ申上ゲマスガ、例ヘバ商工省ノ管轄ノ範圍ニ於テハ、同業組合ノヤウナモノモゴザイマスガ、同業組合ノ組長、副組長等ノ役員選任ニ付キマシテハ、組合員外カラ選任スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマスガ、是ハ必要ノアル時ハ、行政官廳ハ組合員外ノ者ヲ組長、副組長ト之ノ役員ニ命ズルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、即チ組合員ノ意思ヲ問ハズニ官廳ガ組合員以外ノ者ヲ役員ニ選任スルコトヲ命ズルト云フ立前ニナッテ居リマスガ、サウ云フ風ナ立法ハ特別ニ立法ノ理由ガアッタノデアリマスガ、是ハ組合ノ自治權ト云フモノガ、自治ノ精神ニ副ハナイ規定デアリマスガ、此會議所ノ方ハ何處マデモ組合ノ自治權ヲ尊重シテ、定款デサウ云フコトヲ決メタ場合ニ其モノヲ働カス、斯ウ云フ趣旨ニ他ナラヌノデアリマス

何處マデモ徹底スルモノナラバ、此一項ダケデ澤山デアアル、是ガ既ニ自治權ノ一ツノ干涉デテッテ、若シ會議所ノ方デ適任ダト云フコトデ申請シテモ、主務大臣ガ不適任トシテ認可シナイト云フコトガ有リ得ル場合ヲ想像シナケレバナラス、私ハ是ハ自治權ノ干涉デアリ、侵害デアルト、斯ウ思フノデアリマス、ソレカラ此六條ノ第三號、役員ノ定數、權限及選任ニ關スル規定ハ、成程運用ノ上カラハサウ云フヤウナ御取扱ニナルカモ知レマセヌ、併ナガラ是ハサウ云フヤウナ御考デアルトスルナラバ、定款ノ變更ト云フモノガ、私ガ曩ニ申上ゲタ例ノヤウナコトヲ生ジタ場合ニハ、頻々ト定款ノ變更ガアリハシナイカ、或ル問題ガ生ジタ場合ニハ、定款デサウ云フコトヲ認メタ方が便利デアル、或ル場合ニハサウ云フモノガナイ方が便利デアアル、問題ノ生ズル毎ニ、定款ト云フモノノ變更ガ必要デアアル、其場合ニ二十八條ト云フモノガ働イテ來ル、隨テ是ハ煩シイコトニナッテ來ル規定デアラウト思フノデアリマス、其點ハ御考ニナツタノデアリマスガ、モウ一度其點ニ付テ御伺シタイト思ヒマス

○倉元委員 會議所ノ自治權ト云フモノヲ非常ニ御尊重ニナッテ居ル御趣意ハ能ク分リマスガ、サウ云フ根本ノ御精神デアルトスルナラバ、二十八條ノ二項ノ「前項但書ノ規定ニ依ル選任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ」ト云フコトモ私ハ必要ナイト思フ、其御精神ヲ

○吉野政府委員 御答致シマスガ、二十八條ノ二項ニ對スル御尋ネハ洵ニ御尤モナ次第デアリマシテ、實ハ此但書ノ規定ニ依ル選任ヲ、主務大臣ノ認可ヲ受ケルト云フコトニ書キマシタノ

何處マデモ徹底スルモノナラバ、此一項ダケデ澤山デアアル、是ガ既ニ自治權ノ一ツノ干涉デテッテ、若シ會議所ノ方デ適任ダト云フコトデ申請シテモ、主務大臣ガ不適任トシテ認可シナイト云フコトガ有リ得ル場合ヲ想像シナケレバナラス、私ハ是ハ自治權ノ干涉デアリ、侵害デアルト、斯ウ思フノデアリマス、ソレカラ此六條ノ第三號、役員ノ定數、權限及選任ニ關スル規定ハ、成程運用ノ上カラハサウ云フヤウナ御取扱ニナルカモ知レマセヌ、併ナガラ是ハサウ云フヤウナ御考デアルトスルナラバ、定款ノ變更ト云フモノガ、私ガ曩ニ申上ゲタ例ノヤウナコトヲ生ジタ場合ニハ、頻々ト定款ノ變更ガアリハシナイカ、或ル問題ガ生ジタ場合ニハ、定款デサウ云フコトヲ認メタ方が便利デアル、或ル場合ニハサウ云フモノガナイ方が便利デアアル、問題ノ生ズル毎ニ、定款ト云フモノノ變更ガ必要デアアル、其場合ニ二十八條ト云フモノガ働イテ來ル、隨テ是ハ煩シイコトニナッテ來ル規定デアラウト思フノデアリマス、其點ハ御考ニナツタノデアリマスガ、モウ一度其點ニ付テ御伺シタイト思ヒマス

ハ、サウ特別ニ深い意味ハナカッタノデアリマシテ、唯ミ原則ハ議員ノ中カラ役員ヲ選ブト云フコトニナツテ居リマスカラ、例外トシテ、特別ノ場合ニ選バサセルト云フノデアアリマシテ、斯ウ云フ趣旨デアッタノデアリマスカラ、例外ノ規定ヲ行フコトハ慎重ヤウニ、餘リ例外ガ原則ニナラヌヤウニト云フ考カラシテ、サウ云フヤウナ特別ノ場合ノ選任ト云フコトハ、主務大臣ノ認可ヲ受ケルコトニシタラ、宜カラウト云フ位デ、別段ニ深い意味ハナカッタノデアリマス、御承知ノ通り現行法ニ於テハ、役員選任ハ總テ主務官廳ノ認可ヲ受ケルヤウニナツテ居リマスガ、今回ハ其認可ノ制度ヲ全ク廢シタモノデゴザイマス、現行法ニアル認可ノ制度ハ廢シタケレドモ、斯ウ云フ例外ノ場合ダケハ、原則デアリマセヌカラ、例外ノ場合ニハ認可ノ制度ヲ置カウト云フコトニシタノデアリマス、ソレカラ第二ノ定款ノ變更ガ、其場合ノ事情ニ依テ頻々トアリハシナイカト云フ御尋ネハ、サウ云フコトニハナラナイト斷言スル譯ニモ參リマセヌ、御尋ネノヤウナ場合ニハ、或ハサウ云フ風ニ其時ノ當局者ノ考ヘル所デ、朝令暮改ト申シマスカ、サウ云フ弊ガナイコトハナカラウカト實ハ心配致シマスノデ、ソレデ幾ラカ其弊ヲ少カラシムル爲ニ、定款ノ變更ト云フモノノ議決ハ議員ノ三分ノ二以上ガ出席シテ、而モ出席シタル議院ノ三

分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス、普通ノ會議デアリマスカラ、過半數デ之ヲ決メルノデアリマスカ、是ハ特別決議デアリマスカラ、鄭重ナ手續ヲ以テ定款ノ變更ト云フモノヲ定メル、斯ウ云フ立前デアリマシテ、三分ノ二以上ノ大多數ノ人ガ之ヲ改メタ方ガ宜カラウト云フコトデアレバ、朝令暮改ニナリマシテモ、所謂自治權ノ精神カラシテ之ヲ抑ヘル譯ニハ參ラナイデハナイカト、相當ノ用意ハ致シマシタ積リデゴザイマス

○倉元委員 先刻重要物產同業組合ナドノ例ヲ御引キニナツテ、行政官廳ガ其組合長ナリ、理事者ヲ直グニ任命スル、是ハ高飛車的ニ來ルノデアアルガ、本案ハ古イ時代ノ思想ヲ排除シテ、自治權ヲ尊重シテ斯ウ云フ風ニシタノダト云フ御話デアリマシタガ、アレハ明治三十年頃ノ規定ト私ハ思フ、アア云フモノト之ヲ比較シテ、此方ハ餘程自治權ヲ尊重シタト仰ッシャルケレドモ、甚ダ私ハソレハ遺憾ヲ感ズル者デアリマス、ソレカラ今政府委員ノ御述ベニナリマスカウナ、假ニ此法案ノ運用ノ上ニモサウ云フ御精神デアルトスルナレバ、私ハ會頭、副會頭ト云フモノハ、尙更其議員中カラ專任スルト云フコトノ方ガ適當デアアル、今政府ガ御心配ニナルヤウナ點ハ、是ハ商工會議所ニ於テサウ云フ特別ニ定款ノ上ニ一ツノ規定ヲ置イテ、囑託デアルトカ何トカノ名

義ニ於テ、サウ云フ商工業ニ通ジタ智識ノアル専門ノ働ヲ爲シ得ル人ヲ招聘シ得ラレルコトデアリマスカラ、其缺陷ハ必シモ會頭、副會頭ニサウ云フ者ヲ持ッテ來テ据ナケレバ、運用ヲ全カラシムルコトハ出來ナイト云フコトハ、私ハ當ラナイト考ヘテ居リマス、是ハ他ニ方法ガアルト思フ、次ニ御尋ネ申上ゲマスカトハ、此會議所ノ組織ノ上ニ於テ、第八條デアリマスカ、商工會議所ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ第三項ノ「商工會議所ニ商業部及工業部ヲ置ク場合ニ於テハ部ハ各前二項ノ建議又ハ答申ヲ爲スコトヲ得」斯ウアリマスカ、是ハ常議員其他正副會頭ガ居リマシテ、此執行機關ガアツテ總テノコトヲ取扱フ以上ハ、茲ニ政府カラ諮問ガアツタ場合ニ、直接工業部、商業部ト云フモノハ分離シテ居ル、サウシテ是ガ獨立ノ行動ヲ執ルト云フコトニナリマスト、商工會議所ノ統一ヲ缺ク原因ヲ爲スト思フ、何モ斯ウ云フ風ニ分離シタモノヲ政府ガ認メテ、答申ヲ得ナケレバナラヌト云フコトハナイ、是ハ會議所ノ内部ノ作用デ、決シテ規定ノ上ニ御設ケニナルト云フ必要ハ更ラ々々アルマイト思フ、十分ニ商工會議所ト云フモノヲ政府ハ當ニセラレテ、從來ノ現行法通りニ御取扱ニナツテ、サウシテ内部的ニハ斯ウ云フ働ヲ定款ノ上ニ決メテ行ケバ澤山ダト思フ、之ヲ法律ノ上ニ露ハニ「商業部及工

業部ヲ置ク場合ニ於テハ部ハ各前二項ノ建議又ハ答申ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトヲ明ニ御掲ゲニナルト、是ハ却テ統一ヲ缺ク原因ヲ爲ス規定ニナリハセヌカ、斯ウ云フコトヲ私共ハ心配スル、之ニ付テ政府委員ノ御考ヲ承リタ

○吉野政府委員 尤ナ御尋ネデアリマスカ、大多數ノ場合ニ於キマシテ仰シタル通りデアラウト思ヒマス、唯ミ之ヲ置キマシタ私共ノ考ハ、實際ノ經驗ニ鑑ミマシテ、商業、工業ト云フモノハ、其間ニ非常ナ密接ナル連絡ハアリマスケレドモ、又具體的ノ實際問題ト致シマシテ、商業ノ立場カラト、工業ノ立場カラト見ル所ヲ異ニスル場合ガ有リ得ル、ソレデサウ云フヤウナ場合ニ、會議所ト云フモノデ何方ノ意見ヲ容レマシテ、俗ニ云フ所謂折衷的ノ意見トシテ行政官廳ノ諮問ニ對シテ答申ヲシタリ、或ハ建議スルヨリモ、矢張商業ト工業ト違ッテ居ルナラバ、其立場ノ違ヒニ依テ違ッテ居ル意見、商業ノ方ハ商業ノ立場カラノ意見、工業ノ方ハ工業ノ立場カラノ意見ヲ直接ニ聽ク機會ヲ開イテ置イタナラバ宜クハナイカ、又實際ノ經驗上モ、サウ云フ場合ガ便宜デアッテ、本當ノ事柄ノ真相ニ接シ得ルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシタモノデスカラ、此規定ヲ置キマシタ、併ナガラ仰ッシャル通り、斯クスル爲ニ會議所ト云フモノハ統一體ノ一ツノ組織デ

アリマスカラ、其間ニ各商デアリ、工部ガ工業部ノ意見ヲ定メルニシマシテデアルト云ツテ、互ニ部ヲ立テテ争フト云フコトハ、甚ダ面白クナイコトデアリマスカラ、サウ云フコトモ總テ會議所ノ方ニ委シテ、會議所ガ會議所ノ統一ヲ害スルト云フ見地カラ、サウ云フコトニ對シテ反對デアラナラバ、之ヲ強制スル趣旨ハナイ、會議所ノ方デ定款デ商業部工業部ヲ置ク場合ニ、之ヲ此方デ設置ヲ命ジハシナイ、自分ノ方ニ置ク場合ニ、サウシテ置イタ上デ、今度ハ會議所統一ヲスル場合ニハ、會議所ノ獨立ノ意見ヲ述ベサシタ方ガ宜イト云フ場合モアリマセウケレデモ、ソレデハ困ルカラ、會議所ノ統一ヲ害シナイヤウナコトデ、兩方ノ部ヲ働カシタ方ガ宜イト云フコトモアリマセウケレドモ、サウ云フ場合ハ會議所ノ自治ニ委シテ、若シ會議所ノ方デ部ヲ置イテ、部カラ獨立ノ意見ヲ述ベサセタリ何カスル方ガ宜イトシタナラバ、其方ヲ執リタイト云フ斯ウ云フ趣旨ニ外ナラスノデアリマスカラ、貴族院ニ於テハ、ソレナラバ其趣旨ヲ明瞭ナラシメル爲ニ、所謂「部ハ定款ノ定メル所ニ依リ」ト云フ字ヲ入レマシテ「前各二項ノ建議又ハ答申ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウ云フ風ニ修正ニナリマシテ、今仰シヤッタヤウナ趣旨ハ統一ヲ害スルト云フヤウナコトガゴザイマシタナラバ、害シナイヤウナ方法ヲ定款ニ定メル、例ヘバ、商業部工業部ヲ置キマシテモ、工業

部ガ工業部ノ意見ヲ定メルニシマシテモ、ソレハ評議員會ノ評議ヲ經ナケレバナラヌト云フ風ニシテ、詰リ會議所全體トシテノ統一ガ保テルヤウナ途ヲ置クト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマスカラ、實際ノ運用ノ上ニ於キマシテハ、或ハ免レルカモ知レマセヌ事柄ガアリマスレバ、サウ云フ風ニヤリタイト云フ場合ニ其途ヲ開イテ置イタラ宜シカラウ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス

○倉元委員 三十五條ノ「商業會議所ハ必要ニ應ジ商業部工業部、又ハ其ノ他ノ部ヲ置クコトヲ得、部ノ名稱、組織權限、其ノ他部ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスカラ、此條項ガアレバ、諮問スル場合ニ、各獨立シテ答申スルコトガ出來ルトカ何トカ云フ八條ノ規程ハ、全ク私ハ必要ノナイ規定ダト思フ、今申シマシタ三十五條ノ規定ガアレバ、運用上決シテ私ハ差支ナイト思ヒマスガ、此點ニ付テモウ一應、三十五條ト八條トノ關係ヲ御説明ヲ願ヒタイ

○吉野政府委員 洵ニ御尤モナル御質問デアリマス、三十五條ノ二項ニ既ニ「部ノ名稱、組織、權限、其ノ他部ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナツテ居リマスカラ、嚴密ナル法律論カラ申シマスルト、八條ノ第二項ノ方ニ「定款ノ定メル所ニ依リ」云々ト云フノハ或ハ要ラナイノデヤナ

イカト云フ、矢張御同様ノ考ヲ私モ持ツノデアリマス、唯暖昧デハイケナイ、少クトモ會議所ノ方ノ統一ヲ害シチヤイカスト云フヤウナ見地カラハ、其點ハ二重ニナリマシテモ、注意的ニ明瞭ニシタ方ガ宜イト云フ貴族院ノ御意向デアリマシタカラ、其處ニ八條ノ方ニ御入レニナルコトニ對シテ、或ハ「ダブル」カモ知レマセヌガ、重複スルカモ知レマセヌケレドモ念ニハ念ヲ入レテ其趣旨ヲ明ニスルト云フ趣旨デ、實ハ差支ナイト云フ考デ私ハ貴族院ノ修正ニ對シマシテモ同意ヲ申上ゲタヤウナ經緯デゴザイマス

○倉元委員 第五十四條ノ規定ハ、是ハ強制加入ニナルヤウデアリマスガ、是ハ必ズ帝國商工會議所ト云フモノガ成立スルト云フト、地方ノ商工會議所ト云フモノハ、絕對ニ商工會議所ニ加入シタモノト云フコトニ看做ストアルノデアリマスガ、強制的ニサウスル必要ガアリマスガ、是ハ強制ナサラナクトモ、私ハ厭ヤダト云フモノヲ強イテ是非入レナキヤナラヌ、殊ニ「看做ス」ト云フノデ見テモ、絕對ニ政府ハ此案デ以テ押付ケテシマウ御精神ノヤウデアリマスガ、私共ハ其意ヲ得ヌト思ヒマス、ソレカラ次ノ五十五條ニ「商工會議所ニ總會ヲ置ク」トアリマスガ、是ハ帝國商工會議所ト云フモノガ成立スルナラバ、其定款ニ讓ツテモ宜イモノデハナイカト思ヒマスガ、此點ヲ伺ヒタ

○吉野政府委員 第一ノ御尋ネノ、帝國商工會議所ノ成立致シマシタトキハ、御説ノ通り内地ノ商工會議所ハ、總テ強制加入ノ趣旨デゴザイマス、現ニ全國ノ商工業者ノ團體トシテ對外的ニ色ミナ仕事ヲスル商業會議所ノ國際的ノ聯合ノ機關ガアリマスガ、我國ニ於キマシテハ、商業會議所ノ聯合會ト云フモノハ、現行ノ法制上ニハ其人格ヲ認メラレテ居リマセヌケレドモ、會議所ガ任意ニ聯合會ヲ造ツテ、國際商業會議所ト云フモノニ加入ヲ致シテ居リマ

スヤウナ次第デアリマス、サウ云フ風ニ對外的ノ仕事ヲ持ツテ居リ、殊ニ世界經濟ノ色ミナ問題ガ複雑ニナツテ參リマシテ、サウ云フ問題ヲ討議スル場合ニ、矢張國家ノ全體ヲ代表シテ之ニ參加スル必要ガ今後多々益々アルダラウス様ニ考ヘマシタカラ、總テ例外ナク商工會議所ニ加入致シマシテ、帝國商工會議所トシテ左様ナ場合ニ働カセル途ヲ執リタイ、現ニ聯合會ハ任意ノ團體デアリマスケレドモ、現在ノ商業會議所ハ總テ悉ク加入シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、現在ノ仕事ヲ法制上茲ニ認知スルト云フ趣旨デアリマスカラ、強制加入ト云フ言葉ハ、現在ノ思潮ニハ少シ縁遠イヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、別ニ差支ナイデハナイカト考ヘタ次第デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ネノ「帝國商工會議所ニ總會

ハ、商業部工業部ヲ置キマシテモ、工業

部ガ工業部ノ意見ヲ定メルニシマシテモ、ソレハ評議員會ノ評議ヲ經ナケレバナラヌト云フ風ニシテ、詰リ會議所全體トシテノ統一ガ保テルヤウナ途ヲ置クト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマスカラ、實際ノ運用ノ上ニ於キマシテハ、或ハ免レルカモ知レマセヌ事柄ガアリマスレバ、サウ云フ風ニヤリタイト云フ場合ニ其途ヲ開イテ置イタラ宜シカラウ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス

○倉元委員 第五十四條ノ規定ハ、是ハ強制加入ニナルヤウデアリマスガ、是ハ必ズ帝國商工會議所ト云フモノガ成立スルト云フト、地方ノ商工會議所ト云フモノハ、絕對ニ商工會議所ニ加入シタモノト云フコトニ看做ストアルノデアリマスガ、強制的ニサウスル必要ガアリマスガ、是ハ強制ナサラナクトモ、私ハ厭ヤダト云フモノヲ強イテ是非入レナキヤナラヌ、殊ニ「看做ス」ト云フノデ見テモ、絕對ニ政府ハ此案デ以テ押付ケテシマウ御精神ノヤウデアリマスガ、私共ハ其意ヲ得ヌト思ヒマス、ソレカラ次ノ五十五條ニ「商工會議所ニ總會ヲ置ク」トアリマスガ、是ハ帝國商工會議所ト云フモノガ成立スルナラバ、其定款ニ讓ツテモ宜イモノデハナイカト思ヒマスガ、此點ヲ伺ヒタ

○吉野政府委員 第一ノ御尋ネノ、帝國商工會議所ノ成立致シマシタトキハ、御説ノ通り内地ノ商工會議所ハ、總テ強制加入ノ趣旨デゴザイマス、現ニ全國ノ商工業者ノ團體トシテ對外的ニ色ミナ仕事ヲスル商業會議所ノ國際的ノ聯合ノ機關ガアリマスガ、我國ニ於キマシテハ、商業會議所ノ聯合會ト云フモノハ、現行ノ法制上ニハ其人格ヲ認メラレテ居リマセヌケレドモ、會議所ガ任意ニ聯合會ヲ造ツテ、國際商業會議所ト云フモノニ加入ヲ致シテ居リマ

ヲ置ク「ト云フコトニ付テハ、是ハ定款
デ定メタラ宜イデハナイカト云フ御話
デアリマスガ、是ハ社團的ノ一ツノ會
議所デアリマスカラ、之ニ對シテ意思
ヲ決定スル機關ノ總會ヲ置クト云フコ
トハ當然ノコトデアリマシテ、格別ノ
意義ハナイノデアリマス、第二項ノ方
ハ帝國商工會議所ノ總會デアリマスカ
ラ、理論カラ申シマス、之ニ所屬スル
會議所ノ制度ノ代表者ヲ、定款ナリ、法

令ニ依テ置ク場合ハ、會頭ナリ役員ナ
リ組織スルノデアリマスガ、サウ云
フコトガ何モ書イテナケレバ、サウ云
フモノヲ組織シナイト云フコトニナル
ノデアリマス、併シ何分方々カラ集ッテ
來ル代表者デアリマスカラ、何トカ便
宜ニ、必シモ法律上ノ代表者タル會頭
デナクトモ、適當ナ人ヲ選定シテ、以テ
之ヲ組織スル方ガ宜シイト云フ場合ガ
アリマスカラ、ソレヲ置イタ方ガ宜カ
ラウト云フノデアリマス、ソレデ第一
項ハ當然デアリマス、二項ハ多數立法
令ニ例ガアリマス、其例ヲ引用致シテ
斯ウ云フ規定ヲ設ケマシタヤウナ次第
デアリマス

ニナツタ御精神ハ分リマシタ、恐ラク是
ハ私ハ空文ニ終ルコトト思ヒマス、助
長發達ヲ促ス事業ヲ計畫シテ參リマス
ノデ、決シテ斯ウ云フ公益ヲ害スル
カ何トカ云フ事業ヲ商業會議所ガ行フ
ト云フコトハ、私ハ想像出來ナイ、斯ウ
云フ規定ガアルト、折角助長的ニ斯ウ
云フ事業ヲヤッテ見タイト云フヤウナ
考ヲ持ッテ居ッテモ、若シ萬一ニモ御答
メヲ受ケハセヌデアラウカト云フヤウ
ナコトデ、引込思案ニナツテ却テ是ハ
弊害ガアリハセヌカト思フ、寧ロ無イ
方ガ助長發達ヲ促ス爲ニハ宜イト思ヒ
マス、ソレカラ次ニ第三條ノ中ニ「但シ
商工業ノ狀況ニ依リ必要アル場合ニ於
テハ町ノ區域ニ依ルコトヲ得」トアリ
マス、是ハ帝國農會等ノ系統農會ノヤ
ウナモノニ現ハレテ居ルモノノヤウニ
思ヒマス、地方ノ都市ニ接近シテ居ル
處デアリマス、第二項「特別ノ事情
アル場合ニハ」云々ト云フ規定ガ働イ
テ來ルト思ヒマス、サウスルト是ハ政
府ノ御考デハ例ヘバ、地方ノ或ル町デ
モ、或ル特別ノ產業ガ發達シテ居ル町
デアツテ、サウシテ他ノ町村トハ六七里
モ離レテ居ッテ、地理的ニモ一緒ニナレ
ナイト云フヤウナコトヲ想像シテ、此
規定ヲ御設ケニナツタノデアリマスガ、
其點ヲ確メテ置キタイ

イマスガ、是ハ實際ノ場合トシテハ空
文ニ終ルコトガ多イダラウト思ヒマ
ス、唯、強テ想像致シマス、會議所ガ
借入金ヲ致ス場合ニハ、本案ニ於テハ
特別決議ノ方法ニ依ルコトニナツテ居
リマス、即チ議員總數ノ三分ノ一ガ出
席シテ、其三分ノ二以上ノ者ガ同意シ
ナケレバ借入金ハ出來ナイ、所ガ會議
所ガ若シ定款ノ規定ヲ無視シテ、三分
ノ二以上ノ同意ガ無イニ拘ラズ借入金
ヲヤッテ、サウシテ博覽會ヲヤル、或ハ
共進會ヲヤルト云フヤウナ事業ヲヤル
コトガアリマシタ場合ニ、其事業ノ停
止ヲ命ズルト云フコトハ、是ハ机上ノ
空論デアリマシテ、サウ云フ事ハ實際
今日ノ法治國ニ於テ澤山行ハレルトハ
想像出來マセヌケレドモ、サウ云フヤ
ウナ場合モ絶無デハナカラウ、旁々他
ノ同様ノ法定ニ於テモ、監督規定ト云
フモノハサウ云フ風ニ多ク掲ゲテアリ
マスカラ、矢張本法案ニ於テモサウ云
フコトヲ置イテモ宜シカラウト實ハ考
ヘタヤウナ次第デゴザイマス、第二ノ
御尋ネノ町ノ事デアリマスガ、是ハ立
法ノ趣旨ハ、現行法ハ御承知ノ通り大
體市ヲ以テ一ツノ範圍トシテ居リマ
ス、ソレカラ市ト町村デモ、町村ガ聯合
シタ場合ニハ區域ニナレル、併シ現行
法ニ於テハ單獨ニ町トシテハ認メテ居
リマセヌ、ソレヲ今度ハ町デアツテモ
商工業ノ發達ノ狀況カラ見テ、市ニハ
ナラナクトモ商工業ト云フモノガ非常

ナインデアリマスガ、三號ノ場合ヲ一
ツ御想像ニナツテ御説明ヲ願ヒタイ、ド
ウ云フ場合ニ斯ウ云フ必要ガアルノデ
アリマスカ

○吉野政府委員 大分ムツカシイ御尋
ネデアリマスガ、監督規定ノコトハ、御
承知ノ通り實際問題トシテハ、極メテ
稀ニ起ルカモ知レヌト云フヤウナ場合
デモ想像シテ附加ヘル慣例ニナツテ居
リマス、多クノ產業團體ニ關スル取締
ノ法令ナドニ於キマシテモ、隨分各種
ノ廣汎ナル監督權限ト云フモノガ書イ
テゴザイマス、屢起ル事デナクトモ、又
具體的ノ場合ハナクトモ、何カシラ會
議所ト云フモノノ議決ナリ、或ハ議員
ナリ、役員ナリ、清算人ナリノ行爲ト云
フモノガ、法令ナリ若クハ定款ニ違反
シ、或ハ公益ヲ害スルト認メルヤウナ
場合ニハ、會議所ノ事業ノ停止ト云フ
コトヲモ附加ヘテ置イタ方ガ宜クハナ
イデアラウカト云フ位ノ意味デ、總テ
ノ監督ノ法規ヲ立テマス時ニハ、成ベ
ク水モ漏ラサヌヤウニ一々列舉スル例
ニナツテ居リマスノデ、實ハサウ云フ例
ヲ踏襲シタヤウナ次第デアリマシテ、
具體的ノ場合ト云フモノヲ豫想シテ居
ルカト云フ御尋ネニ對シテハ、何カサ
ウ云フ場合ガ生ズラウト云フコト
ハ考ヘテ居リマスケレドモ、具體的ニ
ドウダスウダト云フヤウナ事ハ、直接
ニ例ヲ申上ゲ兼ネマス

○倉元委員 今ノ御話デ、之ヲ御置キ

○吉野政府委員 第一ノ點ハ、必シモ
御尋ネデハナカッタヤウデアリマスガ、
監督規定ノ事業ノ停止ト云フ方デゴザ

○倉元委員 五十一條デアリマスガ、
「商工會所ノ事業ノ停止」ト云フコトガ
第三號ニ舉ッテ居リマス、此場合ハ本條
ノ第一項「清算人ノ行爲法令若ハ定
款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルト
キハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ
得」トアリマス、此場合ヲ私ハ想像出來

○倉元委員 今ノ御話デ、之ヲ御置キ

○吉野政府委員 第一ノ點ハ、必シモ
御尋ネデハナカッタヤウデアリマスガ、
監督規定ノ事業ノ停止ト云フ方デゴザ

○倉元委員 今ノ御話デ、之ヲ御置キ

ニ盛ナ町デアルト云フ場合ニハ、ソレヲ區域ニスル、元來一應ハ市トカ町トカ云フコトニ依テ標準ハ立テマスケレドモ、商工業ノ發達ト云フ點カラ云ヘバ、縱令市ニハナラナクトモ、其發達ノ狀況ガ市ト同様ニ盛ナル場合モアルト考ヘマシタノデ、今度ハ町ノ場合ヲ入レマシタ、從テ實際問題トシテハ、今仰シヤル通り、市ト隣接シテ居ル區域ハ現行法ニ於テモ差支ナイノデアリマスカラ、市ト一緒ニスルノデアリマス、又現在ノ會議所ニ於テモ、町ダケノ會議所モアリマス、是ハ現行ノ會議所法ヲ作ル前ニ、商法會議所ト云フヤウナ名稱デ町ニ置イタモノガ、現行法ヲ作ル時ニ經過的ニ、ソレヲ潰ス譯ニモ行キマセスカラ、原則ハ町ヲ認メナイニ拘ラズ、經過的ニ之ヲ認メタモノガアリマス、朽木ニモサウ云フ町ガアリ、其他ニモ二三サウ云フモノガアリマス、ソレデスカラ現行法ニ於テモ在ルト云フコトモアリマスガ、今申シマシタヤウナ商工業ノ實際カラ見テ、町デモ市ト同ジヤウニ取扱フベキ場合ガアッタナラバ、ソレヲ加ヘヤウト云フノデ、幾ラカ廣イ考ヲ以テ之ヲ置キマシタ次第デアリマス

第四十五條ニ該當スベキモノデアリマシテ、其趣旨ハ同ジモノデアリマス、唯文字ノ整理ヲ致シテ、現行法ノ四十五條ノ文字ヲ明確ニ致シタノデアリマス、現行法ノ四十五條ニ「議員ノ選舉、商業會議所ノ決議行爲又ハ役員、清算人ノ行爲ニシテ法令若ハ定款ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ農商務大臣ハ選舉若ハ當選ノ取消、役員、清算人、議員若ハ特別議員ノ停職若ハ解任、商業會議所ノ決議、行爲若ハ役員、清算人ノ行爲ノ停止若ハ取消又ハ商業會議所ノ解散ヲ命スルコトヲ得」此中デ商業會議所ノ決議、行爲ハ「事業ノ停止」斯ウナツテ居ルガ「行爲ノ停止若ハ取消」ト現行商業會議所法ハナツテ居ルカラ、之ヲ此方ヘ文字ヲ移シタ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、倍テ其實例ガアルカナイカト云フコトハ、是ハ吉野政府委員モ述ベタ通りデアリマスガ、兎ニモ角ニモ斯ウ云フ現在ノ商業會議所ノ規定ガアルノデアリマスカラ、矢張存續スル必要ガアルデアラウ、斯ウ思ッタノデアリマス、ソレカラ「商工會議所ノ議決又ハ議員、役員、若ハ清算人ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フ規定ガアル、一ツ仕事ヲシテモ、是ハ公益ヲ害シハセヌカト戰々兢々トシテ事務ニ從事シテ居ルヤウナコトデハ、商工會議所ノ機能ヲ發達セシムルコトガ出來ヌ、斯ウ云フ

御意見デアリマスカ、是モ商業會議所法ノ四十五條ノ「法令若ハ定款ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ」云云ト云フ現行法ノ規定ガアル、ダカラ現行法ノ規定ヲ此方ヘ移シタモノト御了解ヲ願ヒタイ

○倉元委員 今ノ御説明デ大體ノ御趣意ハ分リマシタガ、尙更私ハ「事業ノ停止」ト云フ文字ハ甚ダ不穩當ナ文字デアル、ソレヲ少シ御熟考ヲ煩ハシテ置キマス、今總御説明ニナリマシタガ、サウ云フ考デアルノニ、商工會議所ノ事業ヲ停止スルト云フコトハ甚ダ不相應デヤナイカト思ヒマス、ソレカラ次ニ御尋ネシタイノハ、政府委員ノ吉野サンノ御答辯中ニ、借入金ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ商業會議所ハ從來現行法ノ場合ニ於テモ、事業ヲ行フ場合ニ借入金ヲヤツテ、事業ヲ行ツタモノガドノ位アルカ、借入金高ノ一番金額ノ上ツテ居ルノハドレ位ニ達シテ居ルノガ一番多イカ、參考ニ承ツテ置キタイ

○吉野政府委員 細イコトハ後デ調べテ申上ゲマスガ、隨分アルノデアリマス、會議所ノ建物ヲ建テル場合、或ハ陳列館ノ借入金等相當アルノデアリマス

○倉元委員 私ノ質問ハ之デ打切りマス

○島居委員 私ハ此商工會議所法ト云フモノハ、改正案ニアラズシテ一種ノ

新立法ノヤウニ思ハレマスガ、サウシテ大切ナル法案デアルノデアリマスガ、此法案ニ對シテ、僅カノ間ニ之ヲ審査シナケレバナラヌト云フコトハ、甚ダ残念ニ思フノデアリマス、出來ル限リ吾々ハ早ク質問ヲシテ、本案ニ對シテ議ヲ了シタイト思ヒマスガ、實際ニ於テ此法案ト云フモノハ重大ナモノデアル、之ヲ立法サレタ根本ノ觀念トモ云フベキモノハドウ云フ點カラ立脚サレテ居ルノデアリマスカ、單ニ時代ノ進運ニ伴フ商工ノ發達ト云フ風ナ御座成信念カラ此法案ヲ立テラレタカ、忌憚ナキ御意見ヲ一ツ伺ヒタイ

○野村政府委員 只今ノ御質問ハ、改正ニアラズシテ新スキ立法デアル、サウシテ新スキ立法ノ根本義ハ何レニ在ルカト云フ御質問デアリマス、立法技術ノ點カラ申シテモ、實ハ新スキ立法デアル、前ノ商業會議所法ヲ廢シテ商工會議所法ニ改メタノデアリマスカラ、立法技術トシテモ全く新スキ立法形式ヲ取ツテ居リマス、而シテ其新スキ立法形式ヲ取ルニ至ツタ理由ハ、改正スベキ點ガ數多ニ互ツテ居ルノデアリマシテ、一々現在ノ商業會議所法ニ手ヲ入レマスト云フト、甚ダ醜クナリマス、サウシテ其根本趣旨ニ於テモ大イニ改善ヲ加ヘタ點ガアルノデアリマスカラ、隨テ寧ロ新スキ商工會議所法案ナルモノヲ立案シマシテ、サウシテ前ノ商業會議所法

ヲ廢止スル、斯ウ云フ風ニ運ブニ至ッタ
次第デアリマス、而シテ斯ノ如ク、謂ハ
バ大々の改正ヲ行フニ至ッタ原因ハ、先
ヅ商業會議所本來ノ使命ハ、申スマデ
モナク商業ノ助長ト指導デアル、是
ハ原則デ、動カナイ使命ト信ジマス、而
シテ此使命ヲ果スベク、商業會議所
ノ現在ガ果シテ十分ニ效果ヲ舉ゲツツ
アルカ、ドウデアアルカ、此點ニ關シテハ
御承知ノ通りニ世間ノ批評ハ、今日ノ
商業會議所ハ所謂其活動振ガ鈍ク、サ
ウシテ其本能ヲ發揮シテ居ナイ、斯ウ
云フ世評ガアルノデアリマシテ、當局
ト致シマシテハ此批評ヲ往々耳ニスル
ノデアリマス、此批評ノ起ル原因ハ何
處ニアルカト申シマス、商業會議所
ノ自體ノ奮闘ノ足ラナイ點モアルデ
アリマセウガ、一面之ニ關スル法制上
ノ副ハナイ點ガアルト云フコトヲ認メ
ナケレバナラヌ、即チ今回改正致シマ
シタノハ、商業會議所ノ指導助長ノ任
務ヲ十分ニ發揮セシムル爲ニ、法制上
ノ側面ヨリ、其足ラヌト思フ所ヲ改正
シタ次第デアリマス、此改正ニ依テ、商
工會議所自體ノ機能ヲ發揮セシムル動
機ニモナリ、又一ツノ原因ニモナル、斯
ウ考ヘテ居リマス、然ラバ其改正ノ要
點如何ト、斯ウ申シマス、是ハ大體
ニ於キマシテハ、此選ハル議員ノ選舉
ニ一ノ原因ヲ爲シテ居ハセヌカ、斯ウ云
フ考ヲ持チマシテ、今回ハ議員ノ選舉ニ
對シマシテ、從來ト違ッタ方法ヲ講ジタ次

第デアリマス、ソレカラ又更ニ一體商工
業ヲ代表スルノデアアルカラシテ、商工
業自體ノ利害ヲ常ニ研究又ハ助長セシ
メテ居ル所ノ此種ノ團體ノ意見ヲ注入
スル、サウ致シマス、云フト、商工會議
所ノ本體ヲ成シ、内容ヲ成ス、此處ニ一
ツノ素因ヲ造ルモノデアアル、斯ウ云フ
考カラ業種別、即チ直接其地方地方ニ
於ケル、其地方ノ盛衰ヲ來ス最モ重大
ナル原因ヲ爲ス、重要ナル商業工業ノ
其利害ヲ直接ニ代表スル人ヲ以テ議員
トシテ、サウシテ機能ヲ發揮セシメタ
方ガ宜シイ、此注入タル必ズ效果ヲ
舉グルモノナリト思フノデアリマス、
例ヘテ申シマス、ソレ、賣藥ノ盛シナ處
デアリマス、ソレバ、普通ノ選舉ニ依ルヨ
リハ、更ニ賣藥業自身ニ没頭シテ、其賣
藥ノ盛衰ガ直チニ其業種別ノ團體ニ影
響ヲ及ボスト云フヤウナ場合ニ、其方
面ノ人ヲ商工會議所ニ入レマシタナラ
バ、必ズ直接ニ機能ヲ發揮セシムル
コトガ出來ルデアラウ、斯ウ云フ考ヲ
持ッタノデアリマス、ソレカラ又普通ノ
議員ニ致シマシテモ、今日ノ商業會議
所ニ於キマシテハ、選舉ノ方法ガ或ハ
三級制度ニナツテ居ルトカ——必シモ
三級制度ニシナケレバナラヌト云フコ
トハアリマセヌガ——サウ云フ制度ニ
ナツテ居ル、是モ時勢ノ進運ニ伴フテ、
又商業業者ノ十分ノ機能ヲ發揮セシム
ル點ニ於キマシテ、是等ヲ二級選舉制
度ニスルトカ、又連記ニ致シマシテモ、

極ク少數ナル連記制度ヲ採ルトカ云フ
ヤウニ致シタノデアリマス、ソレカラ
更ニ又本邦ノ商業ノ將來ハ單ニ内國
ノミデナイ、モウ經濟ニ伴フ外國トノ
關係ガ最モ必要ニ迫ッテ居リマスカラ
シテ、即チ帝國商工會議所ヲ設ケマシ
テ、サウシテ之ヲ法制上ニ認メテ、外國
トノ商工關係ニ於ケル國民ノ輿論、即
チ商業業者ノ輿論ヲ的確ニ代表セシム
ルコトガ最モ必要デアルト思ヒマシ
テ、是モ法制上ニ認メタヤウナ次第デ
アリマス、大體ノ根本ハ、今日ノ商業會
議所デハ十分ノ機能ヲ發揮セシムルコ
トガ出來ヌ、ソレハ法制上ノ不備モ手
傳ッテ居ルト云フ、此觀念カラ今申シマ
スヤウニ改正シタ次第デアリマス、サ
ウシテ改正ノ曉ハ必ズヤ是等ノ法制上
ノ自治權ノ活動ノ見ルベキモノガア
ル、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリ
マス

○嶋居委員 御説明ヲ承リマス、今
度ノ改正ハ條文改正ニ止マラズ、從來
商業會議所トシテノ機能ヲ十分發揮セ
ラレテ居ラナイト云フ點モ御心配ニナ
ツテ今度之ヲヤラレタ、斯ウ云フノデ
アリマス、併シ條文ノ上ニ現レテ居ル
選舉法ノ改正ト云フ其事柄ヲ一々見マ
スルト、御説明ニ是ガ徹底シテ居ナイ
ト云フコトモ明デアリマス、事實私ハ
此商業會議所自體、即チ今マデニ十分
其商業會議所ノ機能ヲ發揮スルコトガ
出來ナカッタト云フ點ニ付テ、ドウ云フ
風ナ御考ヲ持ッテ御出デニナルカ、今度
ノ條文ヲ見マシテモ、第七條「商工會議
所ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行
フ」ト云フコトデ七ツニ互ッテ列舉サレ
テアル「商業ニ關スル通報」「商業
ニ關スル仲介又ハ斡旋」「商業ニ關ス
ル調停又ハ仲裁」「商業ニ關スル證明
又ハ鑑定」「商業ニ關スル統計ノ調査
及編纂」「商業ニ關スル營造物ノ設置
及管理」「其ノ他商業ノ改善發達ヲ圖
ルニ必要ナル事業」斯ウ云フコトヲ掲ゲ
テアルノデアリマス、八條、九條ニハ、諮
問ニ應ジ、又商業業者ニ對シテ相當ノ便
宜ヲ圖ルト云フコトガ書イテアル、是ハ
實際カラ云フト頗ル漠然タルモノデ
スウ云フ漠然タルコトヲ掲ゲテ置ケ
バ、是ハ何レニデモ行ケル譯デアアル、十
分機能ヲ發揮セシメテ、此書イテアル
通りノコトガ出來レバ、商工省ハ立派
ナモノデアルケレドモ、斯ウ云フ漠然
タル事ハ、是亦ヤラナカッタナラバ何ニ
モ出來ナイ、ソレデアリマス、ソレカラ今
マデノヤツテ居ル事ト、今度改正サレタ
ル事柄ト、其内容ニ至ッテハ何處モ殆ド
異ッテ居ナイト云フモ宜イ、サウスル
ト此商工會議所ヲシテ、眞ニ相當ノ成
績ヲ舉ゲ、相當ニ商業業者ヲシテ商工
業ノ發達ニ導クト云フコトニスル爲ニ
ハ、今マデノ方針デハイケナイ、今後ハ
ドウシタラ宜イカト云フコトニ對シテ
ノ御考ガアルカ、之ヲ改正スルト同時

ニ、商工省ノ内部ニ於テ今マデニ課ガ
アツテ、其課ノ分擔モ今マデハ十分デ
ナイノデアアルカラ、此法案ガ立法セラ
レルト同時ニ、内部改造ハドウ云フ風
ナコトヲヤルカ、或ハ之ニ對シテ人選
ヲ新ニスルトカ、或ハ之ニ對シテ特別
ニ經費ヲ置クトカ、斯ウ云フ内部ノ問
題ガ、此處ニ第一起ラナケレバ、實際ノ
仕事ガ舉ガラナイ、建議スルコトモ此
處ニ規定セラレテアリマス、諮問ニ對
シテ答申スルコトモ掲ゲテアル、然ラ
バ此澤山ナ建議、而モ其建議ハ地方ノ
商工會議所ニ於テ相當ノ熟慮ト、サウ
シテ研究トヲシタ上ニ建議ヲシ、答申
スルノデアアル、其答申ヲ今後ハドノ程
度マデ採用スルカ、建議ヲドノ程度マ
デニ商工省ガ之ヲ行フカ、斯ウ云フコ
トニ依テ、初メテ之ニ權威ガ出來、商工
業ノ機能ヲ發揮セシムルモノデアアル、
ソレニ付テハ今マデノ狀態デアッタラ、
多ク諮問ニ答ヘタト云フコトハ、政府
ノ或種ノ材料ニハサレテ居ラウケレド
モ、實際諮問ニ依テ其一ツノ施設ヲ爲
スガ如キコトハ殆ド無イ、勿論建議ニ
シテモ、商業會議所ノ建議ヲ政府ガ採
用シテヤッタト云フ例モ甚ダ少イ、ダカ
ラ商業會議所ト云フモノハ、有名無實
ノモノダト云フ風ニマデ云ハレテ居ル
地方モアルノデアリマス、今ノ御説明
ニ依レバ、單ニ法文ノ改正ニ止マラズ、
其根本的ナ改造ニモ及ボサウト云フ、
斯ウ云フ御説明デアアルガ、然ラバ第七

ル行政ヲ行フ考デ居ルノデアリマス
○嶋居委員 商工省ノ内部ノ問題ノコ
トモ一ツ御答ヲ願ヒマス
○野村政府委員 内部ノ問題ハ、事務
分擔ニ關スルコトデアリマスカラ、唯
斯ウ云フコトダケヲ抽象的ニ申上ゲマ
ス、此法案ガ出來マス以上ハ、此機能ヲ
發揮セシムル上ニ於テ、商工省トシテ
ハ十分ニヤル、是レダケヨリ申上ニク
イ、誰某ガドウ云フ仕事ヲスルト云フ
ヤウナコトハ、事内部ニ屬シマスカ
ラ……

次第デアリマス、大ニヤルト云フ考ヲ
持ッテ居リマス
○嶋居委員 次ハ經費ノ徵收方法ノ點
デアリマスガ、今マデノ商業會議所ノ
經費ハ、勅令ヲ以テ定メラレタル徵收
方法ニ依テ取ッテ居リマスカ、商工會議
所ノ經費徵收方法ハ、モウ少シ之ヨリ
進ンダ權限ヲ與ヘラルル御考デアリマ
スカ、或ハ從前ノ程度ニ御止メニナル
御考デアリマスカ

機能ヲ發揮セシムルニハドウ云フ風ニ
スルカト云フ御質問ト承リマシタ、本
法ヲ出シマシタ以上ハ、當局ト致シマ
シテハ、此法律ヲ出シマシタ關係カラ
見マシテモ、將來商工會議所ニ對スル
交渉、其他ノ關係ニ於テハ十分ニ遣ル
考デアリマス、併シ商工會議所ノ自治
ノ機能ヲ束縛シタリ、干涉ケ間シイコ
トハシナイ考デアリマス、ソレカラ此
法文自體ノ機能ニ付テハ、商工會議所
ノ立場カラ見ナケレバナリマセヌガ、
一體商工會議所ノ規定ハ、稍ミ彈方性
ヲ持過ギテ居ルヤウナ感モアリマス、
是ハ會議所ノ性質カラ來ルモノト思ヒ
マス、而シテ此彈方性アル仕事ニ對シ
テハ、當局カラモ勸メマスカ、會議所自
體モ指導獎勵ノ大任ヲ果シテ貫ヒタイ
ト思ヒマス、サウシテ商工省ト商工會
議所トノ直接ノ諮問トカ答申トカニ付
テハ、誠意ヲ以テ之ニ當リ、商工省ハ之
ヲ有力ナル參考トシテ、商工業ニ對ス

○嶋居委員 私モ其程度ノ御説明ヨリ
得ラレナイト豫期シテ居ッタノデス、併
シ商工省ガ大ニ力ヲ見セラレレバ、權
威アル商工省トシテ豫算ノ問題モ十分
ニ主張ガ出來ルト思フ、ソコマデ往カ
レナケレバ商工會議所ニ御改メニナッ
テモ、大シタ仕事ハ出來ナイト思フ、過
去ニ於テ商業會議所ガ餘リ役立たナカ
ツタト云フ非難モアリマスカラ、斯ウ
云フ法案ヲ御出シニナッタ以上、將來ハ
此點ダケハ物ニシヤウト云フヤウニ、
一點ダケデモ宜イカラ、今マデ斯ウデ
アッタケレドモ、今後ハ斯ウ云フ風ニス
ルト云フヤウナ信念ヲ持ッテオヤリニ
ナラナケレバ、實際ノ仕事ハ出來ナイ、
ソレデ今度ハ斯ウ云フ所ニ力ヲ入レテ
ヤッテ見ヤウト云フコトガアルナラバ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○吉野政府委員 經費ノ賦課ニ關スル
方法ハ、大體現在通リト考ヘテ居リマ
シテ、是レ以上ニ權限ヲ増スコトヲ考
ヘテ居リマセスト申シマスノハ現在デ
モ強制徵收ニナッテ居リマスカラ、ソレ
以上ニ強イコトハナイノデアリマス、御
尋ネノ點ガ制限ヲ高メル必要ハナイカ
ト云フ御尋ネデゴザイマスカ、是ハ實
ハ營業稅ガ今度營業收益稅ニ變リマシ
タノデ、營業收益稅ハ營業稅ニ較ベテ
幾ラカ輕減サレルノデハナイカト云フ
見込モゴザイマスカレドモ、併シ却テ
地方ニ依テハ營業收益稅ノ方ガ高クナ
ルト云フヤウナ御話モアリマスカ、
實ハヤッテ見マセスト果シテドレダケ
ノ經費ガ徵收出來マスカ、見當ガ確實
ニ付キマセヌノデス、ソレデ一方私共
ト致シマシテハ、選舉權ノ最低限度ノ
制限ハ低メタイ、現在ハ二十圓以上ト
云フコトニナッテ居リマスカ、ソレヲ時
代ノ進運ト申シマスカ、幾ラカ引下ゲ
テ十圓位ニ致シタイト云フ考ヲ持ッテ

居リマス、サウスルト有権者ノ數ガ多クナリマスカラ、營業收益稅ガ營業稅ヨリモ實際ノ稅額ニ於テ減ルモノデアレバ、有権者ノ數ガ殖エルト云フ方デ、トシニナリハシナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスケレドモ、若シ其見込ガ外レマシテ、ドウシテモ會議所ト云フモノヲ經營スル上ニ於テ、經費ヲモツト徵收スル必要ガアルト云フコトデアレバ、或ハ制限ナドニ付キマシテモ、モウ少シ考ヘナケレバナラヌカトモ思フテ居リマス、ケレドモ今日ノ所デハ實ハ最大限度ノ制限マデ一杯ニヤツテ居ルノハ少イノデ、是デ大體取リ得ルデハナイカト思フテ居リマスケレドモ、其邊ハ只今申上デマシタヤウナ事情デ、モウ少シ改正スル必要ガ生ジナイトハ今斷言ハ出來マセヌ

○嶋居委員 ソレデハ結局今マデノ方法ト大差ナイト云フ御考デスカ

○吉野政府委員 左様デス

○嶋居委員 法文ニ付テ、モウ少シ御尋ネシタイノデスガ、商業會議所聯合會デ提出サレテ居ル議案ハ、倉元委員カラ御質問ノ點ト能ク似タ點モ大分アリマシタガ、商業會議所ノ改造ニ對シテ、政府ハ現在ノ日本聯合商業會議所ノ會合ニ對シテ、今度ノ改正ニ對シテ多少ノ御相談其他意見ヲ豫メ徵シテ御遣リニナツタノデアリマセウカ

○吉野政府委員 正式ノ諮問ト云フモノハ、實ハ時間ノ都合デ致シマセヌカッ

タト、申シマスノハ正式ノ諮問ニナリマス、聯合會ニ於キマシテモ定款ノ定ムル所ニ依テ二段三段ノ機關ヲ經テ答申シナケレバナリマセヌカラ、時間ガアリマセヌ、ケレドモ内實ハ連絡ヲ取リマシテ、各會議所若クハ聯合會ノ方カラ、新聞ニ現レ、又商業會議所ノ當事者ニ非公式ニ申シテ居リマスカラ、向カラ進ンデ、改正スルナラバ斯ウ云フ風ニヤツテ貫ヒタイト云フ意見ヲ申述ベテ參リマシタノデ、其點ヲ悉クデハアリマセヌガ、大分參シテ入レテ居ル積リデアリマス、又此案ノ骨子ガ出來テカラ、聯合會ニ常議員會ト云フモノガアリマシテ、東京外六大會議所ガ之ヲ組織シテ居リマス、其會議ガアリマシタ時ニ、係官ガ參リマシテ、此案ノ骨子ヲ能ク説明シテ、其時ニハ反對スルトカシナイト云フ性質ノ集リデハアリマセヌカ、述ベマシテ一應御諒承ハ得タ筈ニナツテ居リマス

○嶋居委員 ソレデハ非公式ニ多少ノ御會合意見ノ御交換ハアツタ譯デスナ

○吉野政府委員 左様デゴザイマス

○嶋居委員 正式ニヤラナカッタガ、議案ノ決定後ニ常議員會ニ御諮リニナツテ、大體ノ同意ヲ得タト云フコトデアリマスガ、所ガ其後ニ意見ガ出テ居ル譯デアリマス、此中デ見マス、吾ミト意見ヲ同ジウスル點ガ大分アル、今マデ特別議員ト云フ名稱ヲ顧問ニ變ヘタ

ト云フヤフナコトモ、要ラヌ事ト思ヒマス、ドウ云フ考ヲ以テ爲スツタカ、特別議員ト云フ名前ガ廣ク行渡ツテ、此名前ヲ此處デ御變ヘニナラナクテモ宜サウニ考ヘマス、尙ホ先刻議論ニナリマシタ會頭副會頭ノ問題、是等ハ豫メ商業會議所ノ聯合會ノ重立ッタ人ミト御意見ノ御交換ガ先ニ出來テ居レバ、是デナクテモ濟ムモノデハナカラウカト思ヒマス、此點ニ付テハ將來私ノ希望トシマシテハ、商業會議所ガ現在全國ニアリ、相當役員モ居ルノデアルカラ、斯ウ云フモノニ付テハ十分連絡ヲ取ツテ御遣リニナルト云フコトヲ特ニ希望スル、是ハ議會ニ對シテモ吾ミ甚ダ不愉快ニ感ズル、バツト議案ヲ出シテ、其日ニ質問スル、議案ハ豫メ讀ンデ居ナイ、デアルカラ審議スルトナルト中ニ議了ガ出來ナイ、故ニ商工發達ノ爲ニサウ云フ事ハ十分調査審議サレンコトヲ私ハ希望シテ置キマス

○野村政府委員 今ノ御質問ニ對シマシテハ、斯ウ云フ重大ナ問題デアツテ、サウシテ商工業者ニ直接ノ關係アル問題ハ、豫メ商工業者ノ意見ノ在ル所ヲ十分ニ徵シテ、サウシテ愈是ガ法案ヲ議會ニ出ス時ニモ、相當前ニ出シテヤルノガ當然デアル、私モ矢張同感デアリマス、辯解スル譯デハアリマセヌガ、今吉野政府委員モ申シマシタ通り、此法案ノ中ニハ矢張商業會議所カラノ意見モ諸所ニ採用シテアルヤウナ次第

デアルノデアリマス、併ナガラ嶋居君ノ御説ノ通り、公々然トシテ照會シテ意見ヲ徵サナイト云フ點ハ、手落カモ知レマセヌ、實ハ貴族院ノ方ヘ初メ提案シタノデアリマシテ、ソレカラ三週間モ經ツテ居ル譯デアリマシテ、色々他ノ議案ノ輻湊ノ關係ニ於テ延ビタト云フヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ最後ニ一言申シテ置キマスガ、是ハ私ハ學理ノ方カラデハナク、實際ノ方面カラ申上ゲタイト思フノデスガ、只今ノ話ノ中ニ、會頭副會頭ヲ他カラ取ツテ來ルト云フコトニナレバ、商工會議所ノ自治權ヲ破壞シハシナイカ、是ハ先日木暮君モ本會議デ御質問ニナリ、又本日空氣ヲ見マシテモ失張其點ニ重キヲ置カレテ居ルヤウニ感ゼラレマスガ、實際ト、學理ト、理論ト、是ガ一致スルコトト、シナイコトガアリハシナイカト思ヒマス、自治ノ機關カラ申シマシタナラバ、自治ノ機關タル議員間カラ選ブト云フノガ當然デアリマス、故ニ此原則ハ確手不拔、動カスコトハ出來ヌ、併ナガラ場合ニ依テハ其原則ヲ實行スル上ニ於キマシテ支障ヲ來スコトガ無イトハ言ヘヌ、ト云フノハ今日迄ノ經過ヲ見マス、寧ろ斯ウ云フ規定ヲ置イテ、サウシテ普通ノ途ヲ求ムル、斯ウシタ方ガ、却テ一ノ原則ヲ認メ其上ニ、普通ノ途ヲ用ヒルノダカラシテ、實際上ニ於テ空シクハアリハセヌカ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマ

ス、併ナガラズウ云フ法文ヲ置ク以上ハ、此法文ニバカリ拘泥シテ、先ツ議員選舉ガアルト、會頭、副會頭問題ガ起ツテ來ルノデアリマシテ、寧ロ議員ノ中カラ選ムヨリ、他カラ頼ンデ來ヤウデハナイカト云フヤウニナルコトガ、聯想サレマス、單純ニ見ルト頼ンデ來ル、ソコデ議論ガ起ル、サウナレバ只今ノ御話モ一應御尤デアリマスガ、是ハ御承知ノ通りニ定款ヲ拵ヘテ、サウシテ定款ヲ當局ガ認可シナケレバナラヌ、其定款ニハ會頭、副會頭ハ議員以外ヨリハ選舉出來ヌト云フ定款ノ規定ヲ假ニ定メマシタトシテ、其土地ノ狀況ニ依テ、議員以外カラ選ンデナラヌト云フ考ノ下ニ定款ガ出來テ居リマスレバ、議員外ノ者カラハ會頭、副會頭ハ選ベヌ、此觀念ハ所謂地方ノ狀況ヲ以テ、其定款ニ認可ヲ致シマシタ以上ハ、此條文ガアリマシタ所デ、モウ議員以外ノ者ハ會頭ニモ副會頭ニモナレヌト云フコトニナル、併ナガラズレハ滿場一致デ定款ヲ改正シタラ出來ルデハナイカト云フコトニナル、斯ウ云フ問題ニナツテ定款ヲ改正スル、サウシテ會頭副會頭ハ他カラ入レヤウデハナイカト云フコトニナルト、之ニ又認可ヲ申請致シマシタ時ニハ、當局ニ於キマシテハソレハ大ナル特殊ノ理由、即チ全會一致デ來レバ別デアリマス、若シモ過半數等フ場合ニハ、前ニ會頭副會頭ハ他カラ採ラヌト云フコトニ認可シタ以上

ハ、唯一人ヤソコラ餘計ノ爲ニ定款改正ヲシテ持ッテ來タカラト云ツテ、當局ハ容レル譯ニハイカヌ、併シ全會一致デ持ッテ來ラレバ、此縣ハ他カラ入レテモ宜イト云フコトニナツテ、其改正ニ同意スル、認可スルト云フコトモ、全體ノ意見ヲ容レルノダカラ私ハ宜クハナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、サウ致シマス以上ハ、定款ニ於テ其事ヲ定メラレタ以上ハ、縦シヤ他カラ會頭副會頭ヲ選任スルコトヲ得ト云フ規定ガアリマシテモ、他ノ方法ニ於テソレヲ縛ッテシマフコトガ出來ルノデアリマスカラシテ、御心配ハ無ササウニ考ヘマス、サウシテ一面ドウカト申シマスルト、全會一致ト云フコトガアルノデ、連モ恰度正半數デ仕方ガナイ、何方モ相當ノ感情ト理窟ガアツテ、日々紛擾ニ送ッテ居ル、言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、此時ニ於テハ寧ロ第三者カラ、全會一致デ掛ッテ、機能ヲ發揮スル方ガ宜イデハナイカト云フヤウナコトモナイデハナイノデアリマスカラ、其方ガ却テ商工會議所ノ發達ヲセシメヤシナイカ、斯ウ云フ而ヲ持ッテ、私共ノ信ズル所ノ定款デ抑ヘガ付イテ居ルカラ宜イカト思ヒマス、是ダケノ考ヲ附加ヘテ置キマス

○嶋居委員 色々御説ヲ承リマシタ、是ハ私申上ダレバ議論ニナルノデアリマスカラ、質問ハ此點デ止メテ、次ニ御尋ネシタイコトガアル、是ハ現在アル商工會ト云フモノハ、今マデ商業會議所トシテ認可サレナカッタ以下ノ所ガ全部商工會ニ入ッテ居ル、大キナ都市デモ、現ニ商工會ヲ作ッテヤッテ居ルガ、モット小サク、農村アタリニ其必要ヲ感ジテ農村ノ小サナ商工村、サウ云フヤウナ所ニ矢張りソレヲヤッテ居ル、事實今商業會議所ト同ジ位ニ發達シタ所デモ、商工會ト云フノガアツテ、商工會ト云フモノガ餘程發達シテ居ルノデ、之ニ對シテ法規ヲ制定シテ、サウシテ補助ヲ認メサウシテ地方ノ發達ヲ圖ル、斯ウ云フコトヲ此間本會議デモ質問申上ゲタガ、是ハ能ク實際ノ御調査ヲ願ヒタイ、大都市ダトカ、大キナ都會ノ者ハ色々ニ理窟モ多ク、中ニ議論家ガ多イガ、地方ノ小サナ商工會ニ行キマスト、其人員ハ少シ地方的ニ本當ニ眞面目ナ人ガ非常ニ多イ、ソレガ何等ノ法規モナク、規則モナイノニ、現在相當ニ發達シテ居ルト云フコトヲ考ヘテ、見テモ、政府ガ之ニ相當ノ保護ヲ與ヘレバ、必ズ現在以上ニ發達スルコトハ明カデアアル、サウ云フ小キナ商工會ヲ發達サセルコトガ、寧ロ大キナ商業會議所ヨリモ其人數ガ何十倍アルノデ、斯ウ云フモノガ大ヲ成シテ、日本ノ商工業ノ發達ノ基礎ヲ成スモノデアアルノニ、之ヲ閑却シテ居ル現在ノ事情ヲ見テ甚ダ遺憾ニ堪エヌノデアリマス、此點ニ付テ商工省ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ御尋ネシ、若シモ

此間本會議デ御答辯ニナッタヤウナコトデゴザイマスレバ、是ハ眞面目ニ御研究ガ欲シイノデ、十分御研究ニナツテ早晚實現セシメテ、眞ニ日本ノ商工發達ノ機關トスルト云フ御考ノ下ニ、一ツノ調査ヲ御進メニナルト云フコトヲ私ハ特ニ希望スルノデアリマス

○野村政府委員 今ノ御質問ハ御尤ノ御質問デアリマシテ、商工會議所ガ出來マシタ所デ其、地方々々ノ商工業ノ要素ヲ爲ス指導機關助長機關ガナケレバ、其效力ヲ十分發揮セシムルコトガ出來ヌト思ヒマス、即チ地方ニ於ケル商工會ハ、到ル處ニアリマス、其數ハ今日ハ千幾ラアリマシテ、中ニ發達シテ居マス、是等ガ地方々々ニ於テ指導助長シテ、サウシテソレガ大ナルモノヲ成シテ始メテ日本ノ商業工業ガ發達スル是ハ嶋居君ノ御意見ノ通りデアリマス、當局ト致シマシテモ之ニ對スル法律ヲ以テ權利ノ尊重シナケレバナラヌモノハ權利ヲ尊重シ又弊害デモアレバ、矯正スル所ハ矯正シ、助成セシメルモハ助成セシメル、之ニ適應シタ立法ハ、御説ノ通り早晚拵ヘル考デアリマス、併シソレニ付キマシテハ、矢張り場所ニ依テ違ヒマスカラ、是等ヲ全部取調ベナケレバナラヌ、ソレハ今取調中デアリマシテ、決シテ放任シテ居ル譯デハナイノデアリマスカラ、此點ハ御安心下サイ

○嶋居委員 尙ホ時間ガアレバ後程御

伺ヒシタイト思ヒマスガ、私ハ要スルニ此問題ノ全體ニ於テ、此法律ヲ御ヤリニナル以上ハ、モウ少シ根本的ニ時代ノ現狀ヲ鑑ミテ、將來ノ發達ニ備ヘナケレバナラス、商工業ガ屍古垂レルヤウデハ、日本ノ立國ノ基礎ヲ危クスルト云フ程ノ大問題ニ觸レルノデスカラ、私十分ナル議論ヲ持ッテ居ル者デアリマス、十分政府當局モ之ニ付テ尙ホ一層御研究アランコトヲ希望シテ置キマス、質問ハ是デ打切りマス

○本暮委員 私ハ簡單ニ二三點御質問申上ゲテ、政府ノ簡明直截ナル御答辯ヲ得タイ、第一ハ先程來ノ御話ノ通りニ、從來諮問機關トシテモ其權能ヲ十分發揮スルコトガ出來ナイト云フ世論ニ鑑ミテ、新シイ法律ヲ御出シニナツト云フノデアリマスガ、第八條ノ第二項「商工會議所ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ」ト云フ事ヲ、今後如何様ニ御取扱ニナルカ、從來ハ動モスルト商工業ノ發達助成ニ關シテ極メテ重大ナル事項ニ付テモ諮問ヲシタリ、或ハ諮問ヲシナカッタリ、或ハ建議ヲシタ場合ニモ、從來ノ商業會議所ノ建議ニ對シテ御顧ミニナラナイ事ガ大分アツタト云フコトガ、從來ノ商業會議所ノ權能ヲ發達サセナカッタ理由デハナイカ、勿論商業會議所側ニモ缺點ハアラウケレドモ、政府ノ方ニ於テ、諮問機關トシテ十分之ヲ御利用ニナルト云フ御考ガナクテ、殆ド是ガ空文ニ終ッタヤウナ事ガア

リマシタ、將來ニ於テハ諮問機關トシテ商工會議所ヲ十分ニ其權能ヲ發達サセ、サウシテ商工業ノ發達ニ關スル法案ノ制定其他ニ付テハ必ズ商工會議所ニ諮問スルト云フ御考デアルカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○野村政府委員 從來都合ノ好イ所ハ、當局ハ商業會議所ニ諮問シ、都合ノ惡イ所ハ默ッテ勝手ニヤル、洵ニ不都合デハナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマス、私ハ具體的ニ斯ウ云フ案ニ對シテ諮問シナカッタトカ、斯ウ云フ案ニ對シテ諮問シタトカ云フ、一々ノ事業ヲ捉ヘテノ事情ハ存ジマセヌガ、兎ニモ角ニモ今本暮君ノ御尋ネノヤウナ非難ハ確ニアルノデアリマス、此法律ヲ行フ上ニ於テ、又モヤ其非難ヲ繰返サヤウナコトガアリハセヌカト云フ御懸念カラノ御質問ト信ジマスガ、將來ハ決シテサウ云フ事ヲシマセヌ、商工業ニ關スル事ニ對シテハ、必ズ諮問ヲスル考デアリマス、但シ答申ヲシテ、必ズ其意見通りニ行フカドウカ、是ハ別問題デ、其時ノ商工政策トモ相伴ッテ行カナケレバナリマセヌ、又今日マデハ議會ニ於テ斯ウ云フ質問應答ヲ重ネラレタ事ハナイヤウニ記憶シテ居リマス、或ハ新聞其他各地ノ商業會議所ニ於テ、ドウモ當局ハアア云フ法案ヲ出スノニ何故諮問ヲセナカッタカト云フヤウナ非難ハアリマスケレドモ、立法部ニ於テ其非難ヲ現實ニ意思表示ヲナサタト云

フコトハ從來ナイヤウニ記憶シテ居リマス、本暮君ノ御意見ハ、立法部ニ於テ御述ベニナリマシタ以上ハ、當局ト致シマシテ十分ニ御意思ノ在ル所ヲ尊重シテ致スツモリデアリマス

○本暮委員 只今虚心坦懷ニ、諮問機關トシテ將來商工會議所ノ權能ヲ發達サセルコトニ政府ガ積極的ニ努メルト云フ御言明ヲ得マシタコトハ、我國ノ商工業ノ發達ノ上ニ非常ニ有益ノ事ト思ッテ感謝ヲ致シマス、ソレカラ次ニ伺ヒタイ事ハ、第八條ノ第三項ニ依テ、商業部及工業部ヲ置イテ、是ガ別々ニ答申スルト云フヤウナ事ガ、商工會議所ノ統一の發達ヲ害シハシナイカト云フ點デアリマスガ、政府ハ商工會議所ノ執行機關トシテ、何ヲ御認メニナツテ居ルカ、商工會議所ノ執行機關ト云フモノハ、會頭、副會頭並常議員ト云フモノガアツテ、是ガ執行機關ニナツテ居ル、之ヲ差措イテ商業部及工業部ト云フモノガ別々ニ建議シ、又ハ答申ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトニナルト、是ハ屋上屋ヲ重ネルヤウナ結果ニナツテ、發達ヲ害シハシナイカ、ソレカラ之ニ關聯シテ、第三十五條ニ、商工會議所ハ必要ニ應ジテ商業部、工業部又ハ其他ノ部ヲ置クコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスカラ、商業部、工業部ノ外ニ、鐵道部ナリ或ハ交通部ナリ、理財部ナリ、其他色ミノ部ヲ置クコトガ出來ル、此場合ニ商業部、工業部ハ獨立ニ

建議又ハ答申ガ出來ルガ、其他ノ部ハ出來ヌト云フコトニナルト、他ノ部ト釣合ヲドウ云フヤウニシテ取ルカ、此二點デアリマス、ソレカラ其次ニ伺ヒタイ事ハ、第四十九條「主務大臣必ヤト認ムルトキハ」云々ト書イテアリマスガ、是ハ前ノ商業會議所法ノ中ニモアリマスケレドモ、非常ニ強イ規定デアリマス、先刻來ノ御答辯ヲ伺ッテ居ルト、今後ニ於テハ商工會議所ノ自治ヲ尊重スルト云フヤウナ御意嚮ガ大分アルニ拘ラズ、此第四十九條ノ規定ト云フモノハ非常ニ強イヤウニ私共考ヘマスガ、此點ニ付テハドウ云フ風ニ御考ヘデアルカ、其次ニ御伺ヒシタイ事ハ、帝國商工會議所ト云フモノニ付テハ、本會議ニ於ケル政府ノ御答辯ニ依テモ、先程來ノ政府ノ御質問ニ依テモ、對外的ノ仕事ヲサセル必要上、帝國商工會議所ヲ御置キニナツタト云フ風ニ御話ニナツテ居リマスガ、サウ認メテ宜シウゴザイマスカ、私共ハサウデナク、寧ろ商工會議所ト云フモノノ聯合體ヲ認メテ、サウシテ總テノ商工業ノ發達ノ上ニ於テ、帝國商工會議所ト云フモノガ十分働キヲ爲シ得ルヤウニ御認メニナツタモノト思フ、是ハ何方ヲ信用シテ宜シイカ、此點ヲ伺ヒタイ、ソレカラサウ云フ事ニナツテ來ルト、所謂帝國商工會議所ガ出來ル場合ニハ、強制的ニ入レルト云フコトニナツテ、法人ノ資格ヲ與ヘテ、之ヲ尊重シテ居ルノニ、一方

先日御質問申上ゲマシタウニ、現在ノ事實デアル勞働團體ノ聯合組合ヲ御認メナイト云フ事ト、洵ニ其間ニ取扱ヒ方ニ違ヒガアリハシナイカ、此點ヲ伺ヒマス

○吉野政府委員 第一ノ部ノ點デゴザイマスガ、商業部、工業部ガ獨立シタ意見ヲ述ベルガ爲ニ、會議所ノ統一ヲ害シハシナイカト云フ問題ニ付キマシテハ、先程來御質問ニ對シテ考ヲ述ベテ置キマシタガ、要スルニサウ云フヤウナ嫌ガアル場合ニハ、其商業部ナリ、工業部ト云フモノノ意思ヲ決定シテ官廳ニ對シテ答申シ、又ハ建議ヲスルト云フ場合ニ、統一ヲ害シナイヤウナ途ヲ定款ニ依テ定メレバ宜シイ、或ハ會頭ナリ、副會頭ト申シマスカ、常議員會ノ議決ヲ經ナケレバイケスト規定シテモ差支ナイヤウニ思ヒマス、其意味デ其趣旨ヲ明ニスル意味デ「定款ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ修正ガ貴族院デ出サレマシテ、政府ニ於テモ同意ヲ致シマシタヤウナ次第デゴザイマス、ソレニテ御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ商業部、工業部ノ以外ニ、其外ハドウカト云フト、是ハ御承知ノ通り現在ノ商業會議所ニ於テモ、運輸ナリ、其外ノ部ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ鈞合カラ申シマス、外ノ部ノコトモ書クベキデアリマスケレドモ、大體ガ是ハ商工會議所デアリマスカラ、商業、工業ト云フコトガ主ナルモノデアッテ、ソ

レデ交通運輸ト云フヤウナコトモ、或ハ商業ノヤウニ見ルカドウカト云フヤウナコトモアリマスガ、先ヅ大體商工ト云フ二ツニ別ケマシタナラバ、其下ノ方ノ小分ハ何レニカ這入ルダラウ、兎ニ角商工會議所ト云フ名前カラ申シマシテ其中ノ最モ主ナル點ヲ擧ゲタナラバ、ソレデ宜シクハナイカト云フヤウナ考カラシマシテ、少シ諄クナリマスノデ、外ノコトハ書カナカッタ次第デアリマス、ソレカラ第四十九條ノ點ニ付キマシテハ、是ハ御尤ナ御質問デアリマスガ、大體會議所ニ對シテ強制徵收ト云フ大ナル權能ヲ與ヘテ居ルモノデアリマスカラ、財産上ノコトニ關シテ、必要ガアレバ主務大臣ト云フモノハ必要ナル命令ヲ發シ、又ハ處分ヲ爲ス所ノ途ヲ設ケテ置カナケレバナラヌシ、又斯クスルコトガ他ノ同様ニ強制徵收權ヲ與ヘテ居リマスル愚會トカ其他ノ産業團體ニ於テモ同様ナ取扱ヒデアリマスカラ、其立法令ヲ踏襲シタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ第三ノ帝國商工會議所ノ點ニ付キマシテハ、是ハ私ノ言葉ガ少シ足りナカッタノデ誤解ヲ起シタヤウデアリマスガ、對外的ニ働カセヤウト云フ外、國內ノ商行政ト云フ上カラ、全國ノ會議所ノ聯合團體ヲ働カセル趣旨ナルコトハ御説トノ關係ニ付キマシテハ、ドウモ是ハ私ノ方ノ所管外デモアリマスルガ、卒

直ニ申シマスレバ其性質ガ多少違フモノデハナイカト、斯様ニ考ヘマシタ次第デアリマス

○木暮委員 選舉權ノ問題ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデス、從來選舉權ガ餘リ高過ギテ、富裕階級ノ一部ノ代表ダト云フヤウナ議論ガ大分アッタ、ソレデ今度ノ改正ニ依ルト非常ナ進歩デアリマスガ、是ハ細カイコトヲ命令ニ讓ッテアルノデ分ラナイガ、政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ、時代ノ進運ニ伴ッテ、財産規定ノ撤廢ナドト云フコトガ議論サレテ居ル今日デアリマスガ、併シ其處マデハ兎モ角トシテ、徹底シタ御考ヲ持ッテ居ルカドウカ

○野村政府委員 今ノ木暮君ノ御考通りデ今度ハ擴張スル考デアリマス

○西委員長 ソレデハ今日ハ質問ハ是デ止メテ置キマス、午後二時半カラ交渉室デ懇談會ヲ開キマス、ソレデハ是ニテ散會致シマス

午後零時二十五分散會